

“美しい田園風景を守りたい 地域を担うのは自分の役目！”



松永 夏希（宇佐市）
令和3年就農
米、麦、大豆
にんにく、白ねぎ



就農のきっかけと現在の取組

宇佐市で、米・麦・大豆・にんにくなどを生産・販売している雪乃屋の三代目です。3世代で農業をしています。学生時代に祖父の病気がきっかけで、「故郷の美しい田園風景がなくなるのはもったいない」という思いが芽生え、就農を決心しました。

地域の高齢化も進み、リタイアする生産者から農地を預かることが増え、現在は集落内農地の半分（19ha）を担っています。土地利用型農業での新規就農者がいないため、10年後地域を担うのは自分の役目と覚悟を持っています。

就農を機に、新たににんにくの栽培も始め、にんにく収穫機やドローンなど、作業の省力化やスマート農業技術も積極的に取り入れています。にんにくの通年出荷に向け長期保存できる冷蔵庫の設置が課題であるとともに、購入後も品質が長期間損なわれないような栽培方法を研究中です。

今後はドローンでの農作業受託にも取り組み、地域の農地を守りたいです。

ネットショップ: 雪乃屋

Instagram: 雪乃屋 (@YUKINOYA2021)

今後の展望と皆さんへ一言

何事においても、簡単にできることではないので、忍耐力をもって続けることが大事だと思います。

地域のソフトボールチームに所属しており、その関係で苗木の実証や堆肥の供給など縁が繋がりました。意外な繋がりから発展することがあるため、色々な組織に関わることは大切だと実感しています。



令和6年12月作成

農林水産省HP「次世代型農業支援サービス関係情報」

農林水産省では、ドローンや自動走行農機などの先端技術を活用した作業代行やシェアリング・リースなどの次世代型の農業支援サービスの定着を促進しています。詳しくは右のQRコードから農林水産省「次世代型農業支援サービス」をご覧ください。

農林水産省HP
「次世代型農業支援
サービス関係情報」

